

平成20年度第1回芦屋市スポーツ振興審議会会議要旨

日 時	平成20年8月11日(月) 15:00~17:00
場 所	芦屋市役所北館4F教育委員会室
出席者	<p>会 長 濱田 雅義 副会長 岡田 明 委 員 井上真美子, 中島 健一, 長野 良三, 花木義輝, 春名 片史, 山口泰雄 (4名欠席: 大崎 洋二, 金山 千広, 車谷 博己, 坂井 和明) 事務局 藤原 周三教育長, 橋本 達広社会教育部長, 西 初吉スポーツ・青少年課長, スポーツ・青少年課員3名</p>
会議の公表	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 < 非公開・部分公開とした場合の理由 > </p>
傍聴者数	0人

1 開 会

2 任命書授与

教育長より, 委員8名(4名欠席)に任命書授与

3 教育長挨拶

4 出席者紹介 委員8名及び教育委員会職員(事務局)6名

5 会長, 副会長選出(審議会条例第5条に基づく)

会長に濱田雅義氏, 副会長に岡田 明氏を選出

6 新会長, 新副会長挨拶

7 議 事

・委員8名の出席により, 本審議会成立(審議会条例第6条第2項)

・議事録等の公開を確認(情報公開条例第19条~保有個人情報の開示義務)

会 長 議事(1)芦屋市スポーツ振興基本計画後期5か年計画について, 事務局から説明をお願いします。

西 課 長 今年の2月7日に本審議会から提言をいただき, その後2月15日に教育委員会に計画素案を報告, 2月18日庁議に報告, 2月27日市議会に報告し, 3月に入りまして, 広報あしや, 市ホームページに公表して, パブリックコメントを実施しました。市民からの意見が1件ありましたが, 原案に織り込み済みでございました。

4月, 5月に最終まとめを行い, 6月6日に教育委員会で計画策定の承認を得, その後庁議で報告し, 6月15日広報あしや, 市ホームページに計画策定の公表をさせていただいております。6月10日民生文教常任委員会で

も報告させていただいております。役所の部長，課長や市内幼小中の園長，校長約150名，体育指導委員，スポーツクラブ21の代表やスポーツ関係団体に報告させていただいております。今後は，主要課題にあります，子どもの体力向上や女性，障がい者のスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組んでまいります。

(詳細内容は後期5か年計画冊子に記載のため省略)

会長 ただいま，後期5か年計画について，説明をいただきましたが，これに対して，委員の皆様方から何かご質問やご意見を含めて何かありましたらお願いしたいと思います。

花木委員 9ページのヒューマン（指導者ネットワーク）のところですが，芦屋市の場合は，体育協会，体育指導委員会，レクスポ協会など，それぞれの団体を抱えて活動していますが，この団体が連携して一体になっていくと，それぞれの特長が生かせるようになると思われれます。これらの団体が一緒になって協議会を結成することで，この後期5か年計画を受けて，スポーツ・フォー・エブリワンの企画に基づいた活動が展開できるのでないか。是非とも友好的な連絡協議会を結成することを提案したいと思います。

会長 9ページ・4推進スケジュールのヒューマン（指導者ネットワーク）の「スポーツ団体等連絡協議会の設置」を急がれた方が良く提案がありましたが，このことについて，ご意見ございませんか。

山口委員 芦屋市の中のスポーツ団体と言うと，体育協会，体育指導委員（会），レクスポ協会とスポーツクラブ21の連絡協議会があります。スポーツクラブ21の方はどちらかという指導者不足で，体育協会などは有資格者がけっこう多く，そういうところとうまく連携すると，「人的交流」とか「プログラムの拡大」につながるのではないかと思う。そういうことから，いろんなスポーツ団体が一つになって連絡協議会をつくることは必要と思います。

山口委員 中学校部活動の指導者不足は出てきていませんか。外部指導者のこともあるので，中学校体育連盟の方にも（連絡協議会）入っていただくとネットワークがうまくいくのではないかと思います。

春名委員 中学校の方は，いつも指導者不足です。新しい学習指導要領にも武道を教えることとなっています。今も武道をしていることもありますが，間違いなく不足すると思われれます。

岡田委員 外部指導者については，ずいぶん前から予算化され，私の大学の関係でも指導者を派遣しましたが，ただ，いろいろと問題もありまして，今は行っておりません。

中島委員 さきほどの（連絡協議会の）設置を早める，ということですが，私もこの設置を早めていただきたいと思います。2年間で検討するとなっていますが，事務局サイドの方で早めて進めていただきたい。ハード面でも，22年，23年度に実施で20・21年度検討と書かれています。これもあくまでもスケジュールですから，可能性があるのであれば，逐一，前倒しをしてできるだけ早く進められるよう私からもお願いしたいと思います。

会 長 他にご意見ございませんか。

会 長 スポーツ団体等連絡協議会の設置について、花木委員の方から提案がありましたように、この団体については、市内のスポーツ団体と学校体育関係者（団体）も加えて、大きな組織として、できるだけ早く設置できるように行政の方のご指導もいただいて進めていただきたいと思います。

他の項目で何かございませんか。

井上委員 現状のことを伺いますが、学校体育施設の夜間開放のことですが、どのようになっていますか、指導者の面はどのような形で進んでいますか。

西 課 長 学校体育施設の夜間開放につきましては、グラウンドの開放と体育館の開放の2つがありまして、体育館につきましては、浜手の（中）学校の体育館について一部開放されているところで、山手中学校の第2体育館についてもコミスクの方で地域に開放されているという現状があります。基本計画に載せていますのは、夜間照明を設置したグラウンドの開放ということでございます。

現在、潮見小学校と浜風小学校に夜間照明は付いており、潮見小学校については、地域のスポーツクラブ21が使われていますが、浜風小学校については、近隣住民の方からの反対がありまして、（照明）設備はあるのですが使われていないという現状です。それから、打出浜小学校については、スポーツクラブ21が照明を設置したいということで、近隣の住民と折衝を行ってきています。ただ、スポーツクラブ21の予算の中で設置したいと考えておられるようでして、財源の使い道で一部調整が残っているという段階です。また、審議会の方でも何度かご意見をいただきまして、スポーツ・青少年課の方としましても、地域のスポーツクラブの活動を支援していきたいということで、打出浜のスポーツクラブには伝えているところです。夜間の開放としましては大体こんなところです。

井上委員 障がい者の方の利用度はどうですか。

西 課 長 利用度という尺度は持ち合わせていないのですが、海浜公園プールで利用がなされていますが、結構な人数になってきています。

橋本部長 今後の推進（スケジュール）の考え方ですが、正直言いまして、学校体育施設の検討期間ということで、「前倒しで取り組んでほしい」と中島委員もおっしゃったように、我々の方も、今年度は各校長さんに実態をお聞きしながら、どのような条件で開放が可能かをご意見を伺う中で、開放可能なところからやっていきたいと思うのです。実態としては、周辺の方々の理解を得るのが非常にむずかしいということが最大のネックになっております。先ほど冒頭に教育長の話もございましたが、学校体育施設の開放がむずかしいのであれば、専用の社会体育施設をつくる方向にいかざるを得ないという場面も出てくるかなと思います。そのへんを今年度は学校長のご意見もふまえた中で、地域住民のご理解を得られるのであれば、我々も実際に頼みに行つて、ご協力を願おうとは考えています。

会 長 体育施設の新設ということとなりますと、我々としては、大変に有り難い

話であります、他にございませんか。

花木委員 さきほど、教育長さんの方からご説明もありましたが、県海洋体育館が今、公募（指定管理者）に出されておりますが、芦屋に県海洋体育館があるので、直接、海洋スポーツの普及を図って、キャナルパークとの関連も大きいと思いますので、県と連携した（海洋）スポーツ振興が何かができないか、（利用について）公募に出しても、民間に託されるので、市の立場で何かできないのか。

西 課 長 県海洋体育館との連携した取り組みということ、指定管理者としてということですか。

花木委員 指定管理者も勿論そうですが、施設が芦屋にあるわけですから、県と連携した利用が促進できるようなことと言うことです。

橋本部長 9ページ・推進スケジュールのキャナルパークのところに、関係課等で県海洋体育館が入っております。そういう中で、キャナルパークとして海洋スポーツを進める中でどんな連携がとれるかは、そういう会合の中でこちらからの意見や協力いただきながら、どのようなマリンスポーツが展開できるかは、その中で検討できると思います。

西 課 長 小学校のカヌー教室が県海洋体育館で開催するのはご存知ですか。打出浜のスポーツクラブの子ども達や芦屋市内の子どもがほとんどですが、毎年カヌー教室を開催しており、事業面での協力というのはできていると思います。芦屋市から直接依頼してというのは無いです。

橋本部長 どちらからアプローチをかけるかということだと思います。花木委員が言われましたように、キャナルパーク（利用）の担当者が集まって、そういう機会に賜った意見をふまえて、何か新しいこと、できることがあればと思います。以前、県海洋体育館の館長にお聞きしたのは、海浜公園プールを使って荒天時（天気が悪い時）に、カヌー競技をすとか、そういうようなことも言われていました。

可能かどうか、むずかしい面がありますが、一体化して地域の海洋スポーツ・マリンスポーツが展開できるかというのは、双方意見を出し合う中で協力してできることがありましたら実現していきたいと思います。

花木会長 カヌー協会さんが心配されておられるのは、（一般の）民間の方が公募で取られると、どうしても使い勝手が悪いと心配されておられる。そこを何とか県と（市と）連携することで何かできないかと、地元のカヌーとヨットとかで、活発な活動ができる状況、環境をつくっていくためにもそういうつながりが大切だと思います。

中島委員 今、（県海洋体育館の指定管理者には）どこが手を上げているのですか。

西 課 長 県海洋体育館につきましては、県の施設でございますので、そういった情報は持ち合わせていないですが、隣の海浜公園プールは芦屋市の施設ですが、そちらの方で申しますと、募集要項を8月から始めたところでございます。ただ、申請書を取りに来られたのは、今のところ一社です。まだ期間がございますので、最後はぱらぱらと何社か応募していただけるのかなと考えてい

ます。海浜公園プールは収益の上がる施設ですので、県海洋体育館については、ヨットの係留料金等で利用効率が高いとお伺いしていますから、民間の会社でも、県の財団といったところでも、十分採算の取れる施設ではないかと考えられますけれど、今の（県海洋体育館）の指定管理者募集の状況はわからないので、もう少したないと県の方でも公表していただけないと思います。

山口委員 県スポーツ施設の指定管理者は、2年前猪名川町の健康サイト、昨年度は県文化体育館、今年度は県海洋体育館が指定管理者の募集を行うことが決まっております、これからになります。

会 長 これ以外に何かございませんか。

長野委員 カヌーの話ですが、県海洋体育館でもカヌーをしています、国体競技をやったところのカヌーの倉庫については、芦屋市が管理しているのですか。

長野委員 キャナルパークは尼崎港湾管理事務所が管理をしていますね、県海洋体育館もカヌー教室をやっていますね。何でキャナルパークでカヌーをやらないのか。このあいだ、南県民局で県知事との会議で、県議員の田中先生が県カヌー協会の会長さんですね。その時に、キャナルパークをカヌー専用の場所にしてくれ、と言いましたよ。知事は「考えます」とは言っておられたが、せっかくカヌーの国体会場としてやったのだから、それをなんとか継続させてくれという話をされました。もうすこし、田中先生によく聞いてから、キャナルパークをカヌーの活動場所にしたいと思います。なんで芦屋市がカヌー倉庫を持っていて、フリーの場所でやれるのに、県海洋体育館でも（カヌー）をやっていることは、私はよくわからない。海（キャナルパーク）でやるカヌーの方が良いと思います。芦屋市として何とかならないのですか。地域住民から（モーターボートなどの騒音などで）キャナルパークがうるさいと、かなりの苦情が出ています。

西 課 長 倉庫の位置づけですが、国体競技でのカヌーの置き場所として設置し、国体が終了したので、総合公園内の仮設倉庫として、海洋スポーツの用具倉庫として対応しております。総合公園は公園緑地課の所管ですので、そこから借り受け、それを（市）カヌー協会へ維持管理持ちでお貸ししています。

海洋スポーツの振興のための用具倉庫という形でカヌー協会さんで使っていただいています。ただ、キャナルパークでカヌーの練習場として使うには、まだ、護岸設備などで不足がありまして、なかなか使っていただけない。もう一つは、近くに県海洋体育館がありますので、そこは、カヌーが海面に下りやすくしており、元からカヌーを預かる設備がございますので、カヌーの練習に来られた方は、そちらを利用されるというのが現状です。ですからキャナルパークをカヌー練習場として使うということであれば、もう少し設備は必要かと思います。

長野委員 そういうことを芦屋市はやっていくべきではないか。使用目的でね、住民からは「うるさい」と言われておりますが、誰にも強く言わないしね。カヌー協会からきっちりそういう申請を出して、なんとかカヌーに使えるように

すべきです。あの辺の住民の人も助かるし。この前もドラゴンボート大会の時に、その横を10名くらいでモータージェット（スキーみたいな）でビュンビュン飛ばし、波が立つと（ドラゴンボート競技が）できない。そういうことを許していることはおかしいと思います。芦屋市はあの辺の管理をするのであればやっただけいいと思います。

西 課 長 騒音問題については、西宮市と県海洋体育館、公園緑地課、スポーツ・青少年課で連絡を取りまして、西宮市が御前浜の整備を考慮しておられ、チャンネルパークを含めた海域の利用についての連絡会があります。もうすぐ2回目の会議を行うこととなっています。なかなかむずかしく規制ができない。

長野委員 あそこはカヌー専用の競技場にするべきです。カヌーの国体をやったんですから。芦屋市が強力的にやった方がいいと思いますよ。

花木委員 国体の時に、福田総理（当時日本カヌー協会会長）がおっしゃってましたが、「ここはカヌー競技にピッタリなところだ」と言っておられた。

会 長 チャンネルパークについては、前回の審議会で、設備として「栈橋」を付けたいとお願いしましたが、是非とも前にすすめていただきたい。

会 長 他にございませんか。

山口委員 ハードウェアのところが一番上に出ているのが、手軽にスポーツのできる施設の整備で、これは市民アンケートのスポーツ行政の要望として（資料の44ページ）、前回の調査でも今回の調査でも市民の要望として1番高いものであるのですが、施設整備を考える時に公的な助成の情報がありませんので、すこし紹介させていただきますが、独立行政法人日本スポーツ振興センターというところがございます。スポーツ競技団体と自治体、総合型地域スポーツクラブに補助金の交付をしています。主に、スポーツ競技団体の競技力向上の方はスポーツ振興基金のところからの助成、もう一つは自治体の対する施設整備は、トト（スポーツ振興投票法案・サッカーくじの収益）からの助成、ご存知のようにトトは平成13年にスタート、最初1年目の売り上げは良かったが、それ以降どんどん落ち、平成14年の補助は57億円であったが、去年は2億円へった。たとえば、クラブハウス整備、芝生化事業、人工芝整備事業があったんですが、現在は総合型地域スポーツクラブへの活動支援だけになっている。ご存知のように、昨年「ディック」という商品がヒットし、これまでの「トト」はJリーグの14試合の勝ち負け引き分けを予想するという、どちらかという、サッカーにくわしい人しかできないようなものだったのが、「ディック」といういわゆるコンピューターがランダムに予測すると、宝くじみたいなもので、その方式をやったところ、当たりまして、売り上げが伸びまして、今年（1年目くらい）600億～700億円になりそうです。今年度から助成が増え、今年度は10億円となった。その中で、芝生化事業と夜間照明事業、人工芝事業も復活しました。人工芝事業も2件申請許可されましたが、まだ、助成が残っているようで、継続的に受付するようです。現在、人工芝も良くなり、ハイテク芝（転んでも痛くない・高性能）があり、王子競技場もハイテク芝で、サッカーの試合にも良い。川西運

動場などは検討されると良いと思います。今年の助成も残っていますし、来年、再来年と売り上げが上がると助成額も増えそうなので、是非とも検討されたらどうかと思います。(芝生改修目的でも助成が受けられると思います)

会 長 貴重な情報をありがとうございました。

会 長 それでは、後期5か年計画につきましてはこれで終わります。

これ以外で、芦屋市のスポーツ振興に関して何かございましたらお願いします。

中島委員 今回の審議会の通知が教育長名になっており、会長が招集することとなっていますので、きっちりやった方がよろしいかと思います。

会 長 それでは、これで議事を終らせていただきます。会議の進行を事務局へお返します。

事 務 局 濱田会長、議事の進行ありがとうございました。

最後に、橋本社会教育部長よりご挨拶を申し上げます。

橋本部長 (閉会の挨拶)

事 務 局 これをもちまして平成20年度第1回芦屋市スポーツ振興審議会を終了いたします。ありがとうございました。